

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営の基本方針

離島・生活航路としての公共的使命を果たし、安全運航と良質なサービスで地域社会に貢献する総合力の高い社会貢献企業を目指す

2 中長期の経営戦略

1. ローコスト経営体質

コストの弾力化・固定費圧縮により、収入変動に左右されない体質を構築。閑散期対策と収益確保に注力

2. 既存概念にとらわれない営業強化

新商品開発、物流・商流活性化、ECサイト事業展開など柔軟な発想で事業を拡大

3. 2026年スローガン：Buildin...

安全運航徹底と法令遵守体制強化を基盤に、顧客・地域・株主からの信頼回復と企業価値向上を最優先

4. 旅客部門の需要喚起

自然環境型観光・体験型商品開発、企画乗船券拡充、ダイヤ・船隊最適化で収益力向上

3 対処すべき課題

① 厳しい事業環境への対応

- ・ 東京諸島の人口減少と観光需要の回復遅れ
- ・ 人件費・燃料費・修繕費上昇と人材確保の難しさ
- ・ 気象海象リスク増大への対応

② 安全・収益の両立

- ・ 安全運航体制の強化と運航管理・教育訓練の充実
- ・ 貨物部門での生活物資安定輸送と新規輸送受注の両立
- ・ 不採算航路の公共性維持との両立

③ 各事業部門の持続性確保

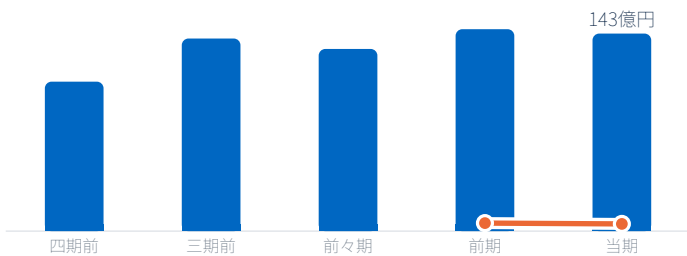
- ・ ホテル事業で地域資源活用と顧客満足度向上を推進
- ・ 旅客自動車運送事業で2026年1月に乗合バス運賃改定実施
- ・ 各部門の固定費圧縮で経営体質強化

面接で使えるポイント

- ・ 東京諸島と本土を結ぶ離島航路で、公共的使命と採算性の両立を目指す経営姿勢
- ・ 2026年『Building Trust 2026』で安全運航と法令遵守を基盤に信頼回復に取り組む方針
- ・ EC事業など新規分野展開で、輸送量に左右されない多角化経営体を構築中

証券コード 9173

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
143億円営業利益率
3.7%財務健康度
23点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 49.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
875万円
海運業内 8位/11社平均年齢
42.5歳
海運業内 3位/11社平均勤続
15.7年
海運業内 1位/11社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 東海汽船、「八丈島復興応援きっぷ」6月末まで延長決定。価格は

